

MS さん

私とエニアグラム私が初めてエニアグラムの存在を知ったのは、10年以上前の事でした。  
(2006年くらい)

ファッション関係のコンサルタントをしていた友人が、エニアグラムを始めたと言って本を見せてくれました。

その当時は、自己啓発セミナー的なものが盛んな時代で、友人から話の内容では質問事項がたくさんあって性格診断に役立つものと言う印象でしたので、そのままになりました。次に目にしたのは5、6年前で、知人にエニアグラムの本をいただき、その表紙にあったシンボルのような図柄にとっても心を惹かれました。

ですがなんとなくしか、なぜか本を読むことができず関心を持ちつつもそのままになっており、それからエニアグラムに触れる機会はあったものの、進まずの形でした。今年の夏に、半年間のエニアグラムアソシエイトの養成講座的な勉強会が始まると聞いて、今までと違ってピンとところにひらめくものがあり、この会に参加を決めました。

実際に参加してみてふと感じた事は、この人間学の学びを始めるのに適したタイミングと言うものがあるのではないか、と言うことでした。一人一人が違う人間であり、またそれで良く、多様性を大切に、他と比べることもなく他を廃止することもなく、などなどは認識して日ごろからある程度はできているつもりでいましたが、中にどうしてもなぜか理解ができない、どうしてそのような発想になるんだろう？自分では考えが及びもしない考えをする相手が人のタイプがあるのだと言うことを実感として知ることができました。自分の内面にある、普段は気づきたくない、気づかないでいた闇のような何かの特性があり、それが自分の恐れや囚われであることにも気が付きました。

そして他のあるタイプの方に対して、私が良かれと思ってしていた接し方が全くの逆効果ではなかっただろうか、などにも思い当たり、エニアグラムアソシエイトの学びに挑戦、参加して本当に良かったです。私にとってエニアグラムは、今後もこの学問をゆっくりとでも自分なりに深めながら人生にいかせていきたいと感じる学問になりました。